

溪和会江別病院 令和7年度病院指標

2. 診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)

<定義>

- ・診療科別に患者数の多い疾患について、診断群分類コード別に示したものです。該当患者数が10名未満の場合は「-」にて表記しています。
- ・該当患者数が10名未満の場合は「-」にて表記しています。
- ・転院率については、転院患者数(退院先が他の病院・診療所への転院)/診療科ごとの全退院患者数としています。
- ・平均在院日数(自院):入院中の在院日数をDPCコード毎に集計し、その値を症例数で割った平均値です。
- ・平均在院日数(他院):厚生労働省より公表されている全国DPC対象病院の令和7年度における在院日数の平均値です。
- ・同一病名でも、重症度や治療内容によってDPCコードが異なって集計されます。

外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
060160x001xxxx	鼠径ヘルニア(15歳以上) ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	54	4.76	4.56	3.70%	71.28	—
060335xx0200xx	胆嚢炎等 腹腔鏡下胆嚢摘出術等 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	51	7.45	7.05	1.96%	66.61	—
060150xx03xxxx	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術等 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	31	18.19	5.36	6.45%	76.84	—
060150xx99xxxx	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの等	22	5.55	8.00	0.00%	56.09	—
060210xx99000x	虫垂炎 手術なし	19	7.74	9.07	0.00%	50.89	—

<解説>

鼠径ヘルニアや胆嚢炎、大腸癌の手術治療が上位を占め、昨年度より増加傾向にあります。
最も多い鼠径ヘルニアは、患者さんの状態に合わせて、開腹だけでなく腹腔鏡による手術を行っています。
虫垂炎では、緊急手術以外にも抗生剤による保存的治療や、炎症を鎮めてから待機的に行うインターバル手術も行っています。

人工透析内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
110280xx03x0xx	腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 内シャント血栓除去術等 手術・処置等2なし	74	4.14	3.74	0.00%	73.81	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—

<解説>

主に腎不全患者さんの透析治療を行い、人工透析に必要なシャントの作成、シャントの合併症にも対応しています。
心不全や肺炎、脳卒中など他疾患を併発した場合、他科と連携して診療を行っています。

脳神経外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
010060xx99x20x	脳梗塞 手術なし 手術・処置等22あり 定義副傷病なし	75	18.89	16.60	22.67%	78.97	—
030400xx99xxxx	前庭機能障害 手術なし	67	3.97	4.67	1.49%	73.01	—
010060xx99x40x	脳梗塞 手術なし 手術・処置等24あり 定義副傷病なし	62	18.56	16.51	25.81%	75.26	—
160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	36	11.97	9.62	2.78%	82.44	—
160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	30	11.70	7.84	16.67%	65.93	—

<解説>

脳梗塞の入院患者さんが最も多く、次いでめまいの患者さんが多くなっています。頭部外傷や頭蓋内損傷・出血患者さんも多く治療対応しています。手術治療のほか、薬物治療やリハビリ治療を行い当院の治療が落ち着いた後は、患者さんの状態にあわせ自宅や施設、療養型病院、回復期病院などへ退院できるよう連携を行っています。

整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
160800xx02xxxx	股関節・大腿近位の骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	50	34.12	24.75	50.00%	83.78	—
160690xx99xxxx	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む。)手術なし	25	37.48	18.99	16.00%	82.80	—
160980xx99x0xx	骨盤損傷 手術なし 手術・処置等2なし	13	37.15	18.59	15.38%	79.62	—
160760xx01xxxx	前腕の骨折 骨折観血的手術 前腕、下腿、手舟状骨等	11	8.45	5.86	9.09%	76.36	—
—	—	—	—	—	—	—	—

<解説>

大腿骨骨折に対する人工骨頭挿入術や観血的手術が最も多く、様々な部位の骨折に対応しています。
 当院の治療が落ち着いた後は、自宅や施設、療養型病院、回復期病院などへ退院できるよう連携を行っています。

消化器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
060100xx01xxxx	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。)内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	199	2.06	2.56	0.00%	70.36	—
060340xx03x00x	胆管(肝内外)結石、胆管炎 限局性腹腔膿瘍手術等 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	87	9.40	8.76	1.15%	79.91	—
060102xx99xxxx	穿孔又は膿瘍を伴わない憩室性疾患 手術なし	42	7.71	7.58	0.00%	66.21	—
060190xx99x0xx	虚血性腸炎 手術なし 手術・処置等2なし	40	8.63	8.41	0.00%	74.58	—
06007xxx97x0xx	膵臓、脾臓の腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等2なし	35	11.11	11.27	8.57%	79.09	—

<解説>

大腸ポリープ切除入院が多く、次いで胆管炎、結腸憩室炎の患者さんが上位を占めています。

低侵襲手術と呼ばれる身体の負担が少ない内視鏡手術を積極的に行っています。

消化器内科での治療後に外科的治療が必要となった場合は、外科医と連携をとり迅速な治療が可能です。

循環器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
050080xx99001x	弁膜症(連合弁膜症を含む。)手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病あり	34	30.91	18.10	8.82%	89.47	—
050050xx0200xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手術・処置等1なし、1,2あり 手術・処置等2なし	28	4.86	4.12	3.57%	72.75	—
050050xx9910xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等11あり 手術・処置等2なし	27	3.07	3.10	3.70%	73.11	—
050210xx97000x	徐脈性不整脈 手術あり 手術・処置等1なし、1,3あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	25	11.04	9.57	0.00%	82.68	—
110290xx99x0xx	急性腎不全 手術なし 手術・処置等2なし	18	20.89	13.26	5.56%	86.06	—

<解説>

狭心症、慢性虚血性心疾患に対する心臓カテーテル検査も多く対応しており、病変が見つかった場合の治療にも対応しています。
 次いで徐脈性不整脈に対するペースメーカー移植術や交換の患者さんが上位を占めています。
 急性心筋梗塞の場合、緊急のカテーテル手術にも対応しています。

呼吸器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
040040xx9910xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	57	2.58	2.99	0.00%	74.77	—
040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし	55	19.71	20.49	14.55%	85.42	—
040110xxxx00xx	間質性肺炎 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	22	24.45	18.39	4.55%	76.36	—
0400802499x0xx	肺炎等(市中肺炎かつ75歳以上) 手術なし 手術・処置等2なし	21	17.43	16.10	0.00%	82.43	—
0400800x99x0xx	肺炎等(市中肺炎以外) 手術なし 手術・処置等2なし	11	15.09	18.48	0.00%	81.36	—

<解説>

肺癌の検査入院が最も多く、次いで誤嚥性肺炎、間質性肺炎、市中肺炎と続いています。